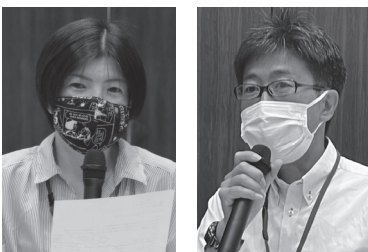


第1小委員会 発言者



第2小委員会（安全・業務）

第2小委員長に、北村委員長（京都地本）が選出され、議事が進められた。本田副執行委員長から、安全、春闘、働き方委員会業務について課題提起があった。それを受け、離職、働き方、技術継承、女性の働き方、組織改訂、近統中統等、30名から95の発言があった。最後に、本田副委員長から、「現場の声をしっかりと伝えていく」「JR西労組としてのコミュニケーションの重要性」「分会長の役割の大切さ」などの総括答弁があった。

中央本部出席者

本田副執行委員長 福本 企 部次長 小松組織・業務部
画部長 川原業務部長 池 次長 飯田鉄道営業部会長
上賃金対策部長 大場組 下釜鉄道工務部会長 藤原
組織・業務部次長 筆野組織・ 間接部門部会長 梅村医療
業務部次長 堀組織・業務 部会長 岩本鉄道運転副部
部次長 小西池組織・業務 会長

発言者氏名

金沢地本・長浦委員 安江 岡山地本・田中委員
委員 貝原委員 堂屋敷委員
京都地本・東委員 渡邊委 米子地本・浜口委員
員 飯山委員 安養寺委員
大阪地本・玉置委員 奥畑 広島地本・松村委員
委員 田中委員 河畑委員
山根委員 中山 齋藤委員
和歌山地本・藤々木委員 福岡地本・横山委員
委員 安藤委員 本社総支部・佐藤委員
神戸地本・梅井委員 福本 内田委員
委員 後藤委員 廣松委員
福知山地本・高松委員 尾崎委員 新幹線協議会・原委員

発言要旨

●速度選択スイッチの25km/hの選択位置の新設。
●駅部門のキャリアステップ。
●みどりの券売機プラスの機能改修について。

●遠隔MV導入後の現状と課題について。
●MV・遠隔MVの抜本的な改修。
●工務触防の過剰不要なルール



挨拶をする北村小委員長

第2小委員会発言者



●復職後のキャリアアップ。
●運転適性検査について。
●組織改正による課題への対応とスケジュール感。
●鉄道部組織についてエリアの特色を踏まえた議論を。
●電気の業務体制の見直し。
●余力ある所要員の算出を。
●乗務員による椅子子介助に向けた設備整備。
●プロ採のキャリアステップと採用形態のあり方。
●通信研修のWeb化推進。

●各種試験の労働時間化。
●地方ローカル線の情報開示について。
●電子決済の導入拡大を。
●作業日報入力不要では。
●新幹線通勤の条件緩和を。
●客室乗務員の社員登用。
●中国統括本部の発足への不安感。
●DCL運転士不足について。
●フレクスタイム制の導入箇所拡大を要請。

●工務系統の女性組合員の設備投資を。
●地上職の待遇改善を。
●フレックスと半休併用の改善を。
●冬の期末手当では、満額回答を。
●泊り勤務による女性特有の課題。
●不妊治療の休暇の新設を。
●短日数勤務制度の改善を。
●家族のコロナ看護休暇を有給に。
●「女性活躍」が掛け声だけに終わらぬように。
●コロナ禍の呼び出し対応に手当てを。
●交番検査班長に手当の新設を。
●動物遺骸処理等給付金の適用範囲を拡大されたい。
●車両地上職の賃金改善を。

●夜勤手当の付くフレックス③を実施されたい。
●保線区の大単位化の全体像を明らかに。
●バス部門における改善基準告示改正の課題について。
●スリム化された駅の販売体制について。
●手書き団体乗車券と出札補助券の開始について。
●工務職場の待遇改善やモチベーション向上による離職防止について。

●コロナ禍による出向者へのフォローについて。
●乗務員区における事務業務体制見直しについて。
●本社組織改正後の所要員について。
●社員が提言やモノの言える職場風土の醸成を求める。
●触車事故防止に向けたヒューマンエラー防止対策について。

●在宅勤務時のPCネットワーク環境について。
●グループ会社のテレワーク環境整備について。
●プロジェクト工事完遂時には組合員の「承認行為」を。
●施設系統社員の転勤が多い。
●購入券の電子化と職務乗車証の機能改善を求める。
●組織改正時は早期に事前通知された。
●看護職員の待遇改善を求める。

●社員が提言やモノの言える職場風土の醸成を求める。
●触車事故防止に向けたヒューマンエラー防止対策について。